国立公文書館
National Archives of Japan

和書門
類 二七八五 函 二七八 架 五三 冊

庫文閣内
和書
類 二七八五 號 函 三三 架 五三 冊

内閣文庫
番號 和 17685
冊數 53 (5)
函號 202 350

国立公文書館
National Archives of Japan

書籍館

日本政府圖書

未摘花

私　源氏五十七ぎ

和學講談所

十八帖

大輔命婦語常陸宮姫君有様事

臘月夜之比立聞常陸姫君琴音事

頭中將立隠透垣本見頭事

同特源氏与頭中將同乗向大蔵御所合物音事

源氏与頭中將語常陸宮琴音事

源氏臺病事

淺草文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

源氏遣消息於常陸宮事
於大殿御所令習舞楽等事
冬比宿常陸宮給事
[illegible]
女房着貂裘事
使隨身挿橘樹雪事
歳暮常陸宮姫宮送衛裝束於源氏許事
源氏賜返哥事
哥求子歌給事

十八歳

正月七日宿常陸宮事
翌日還二條院与紫君戯給事
手仲物語事

未橘花　以歌并詞為巻名

[illegible]
詞[illegible]
私[illegible]
[illegible]
源氏[illegible]
歌[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
事[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]
秋 芳村 松亭
雪白し
琴和するあり
三友なり

同 二日小憩下
三友者誰 琴罷觴挙酒
三友遍相引
一詠觴四友 倚北窓中有閒 以酔詠純之
（白氏文集 六十二北窓三友）

松 楽天の小詩の三友八琴詩酒
これを楽しきこと
今日の如し

自句 何ぞ酒 欣逢得三友
酒罷觴吟詩
徜徉環五弦特 一弾慰心中心

手柄のさん紅引くこと

今一くさ
以下の句を詩の事を
手伝うこと
一部分 何ぞ
松 何ぞ詩人一くさ
詩の事 紅葉
詩人の事 紅葉
陰 今一くさ八何ぞ
こと奇妙なこと
何ぞ詩の事
こと
松 亭

朱崔浣云黄帝始烹穀与鶉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（天文）
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　懲　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云
毛詩序曰衛莊姜傷己也
箋云　遠　字也
詩曰戒秋是伐荊舒是徵（コラス）コヽヲスト云

何秘色磁器也越窯也其色翠青而絶世也百
庶不得用之故云秘色
今之俗統之謂
陸龜蒙集有越窯詩
九秋風露越窯開
好向中宵盛沆瀣
李郢王記天賜五年六月九日御膳机盞折
數四枚就用秘色
集得十峯翠色来
共盛中藪岡遺杯
人々

多 諸侯服用准公卿
衣 也 ○ 袿 ハ 婦人
ノ 上 ニ 着 ル 衣 ナ リ
多 用 二 綾 ヲ 以 テ 之 ヲ 作 ル
又 用 二 紗 ヲ 者 ア リ
多 ハ 用 二 五 色 ノ 綾 ヲ 以 テ 之 ヲ 作 ル
其 ノ 制 ハ 背 ノ 縫 目 ヨ リ 下 ヲ 裁 チ 開 キ
左 右 ノ 衽 ヲ 合 セ ズ シ テ 垂 ル ル 事 ヲ
衽 ト 云 フ 也 ○ 裙 ハ 婦人 ノ 下 ニ 着 ル
衣 ナ リ 多 ハ 用 二 五 色 ノ 綾 ヲ 以 テ 之 ヲ
作 ル 其 ノ 制 ハ 腰 ヨ リ 下 ヲ 裁 チ 開 キ
左 右 ノ 衽 ヲ 合 セ ズ シ テ 垂 ル ル 事 ヲ
衽 ト 云 フ 也 ○ 袿

見過 大唐之法例 統斗之十令 國依之 所作之 法令 以万葉會 問答長歌之反歌

相有事
象 梵云伽那云那伽
異物志云 象之為獸形体特詭身倍數牛目不踰
象毒為百役望頷如尾馴良承教聽言則跪
帝釈象王名檀羅那身長九由旬高由旬
河 観普賢経云普賢菩薩乗大白象王如紅蓮華
色

養議司但浅紅狩菓未及火色者不在制限
長保元年大政官符云
紅染服堤坊自存中袴直

袍下襲之類或是用紅或又用紫誠無禁淺浅未言
制其浅色
今案 ○
○
○

杜子家ニ奉送魏六大佐北府之交廣詩曰
季子黒貂敝得無妻嫂
弊
又云遊数歳大困而帰元芳嫂妻皆却笑之
又云先應疑鴛鴦嗟赤憲貂裘敝婦娥寡天寒奈
九詩　以上箕

註　蘇季子乗用黒貂裘

領待来為童形見八童大慚云

花江次芳云　昔秦宮人毛寿着黒貂裘八童見物北向秦宮統公件裘一

花江次芳云　昔秦宮人毛寿着黒貂裘八童見物北向秦宮統公件裘一

多河拾遺云　中宮女子ゆえ高光如入通横川行

多河拾遺云　中宮女子ゆえ高光如入通横川行

国立公文書館
National Archives of Japan

文集第一秦中吟

夜深炯炯火盡

老者身無褐

悲端子寒元

細者形不蔽

侵入窗中幸

夜深炯炯火盡 悲端子寒元

老者身無褐 細者形不蔽

侵入窗中幸

見延書式

永久三年十一月十四日五節童御覧日法性寺関
白紅梅浮文萌木十倍黄苔紅衣　以上笑
松　松
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秘抄之奥之勘物

（花ヶ上卦）
故考陵ヶ

光孝天皇承和五年正月任常陸太守
又考僧日本紀後紀第五
承和五年正月庚申朔廿四品志良親王為常
陸太守従五位下若原朝臣貞ヶ為ノ介

嵯峨天皇　仁明天皇（諱正良）

志良親王　二品式部卿　容貌美麗
貞観十八年二月廿日薨五十八歳

国立公文書館
National Archives of Japan